

2018～2020年度 科学研究費：挑戦的研究(開拓) 採択

「音楽ティーチング・アーティスト養成コアカリキュラム開発のための音楽大学(学部)連携」による

パークリー音楽大学の講師の

ティーチング・アーティスト 特別研修ワークショップ

参加費

学生：無料

一般：1,000円

(事前予約制)

[日時] ▶▶ 2020年 **3月5日(木)**
13:00-16:00

[会場] ▶▶ **神戸女学院大学 音楽館ホール**

デイヴィッド・ワレス (博士) Dr. David Wallace

演奏家、作曲家、ティーチング・アーティストとして活躍し、現在は、パークリー音楽大学の弦楽器学科長を務めている。パークリーに赴任する前は、ジュリアード音楽院で14年間教鞭をとり、ニューヨーク・フィルのティーチング・アーティストとして17年間働いた。また、タンゲルウッド音楽祭、ボストン交響楽団、リンカーンセンター教育部門、韓国文化芸術教育サービス(KACES)など、多くの芸術団体でレジデンシーやワークショップを実践している。ニューヨーク・フィルの「子ども作曲家プログラム」では、100人近くの子どもの指導をし、彼らの作品をオーケストラの団員で演奏している。最近の著作《聴衆を巻き込む：双方向型演奏会のためのガイド》は、「シンフォニー・マガジン」誌において、「クラシックの音楽家のみならず、すべての音楽家にとって貴重なマニュアル」と評されている。通常は音楽祭やコンサート・シリーズでソロや室内楽を演奏している。またテキサス・スタイルの弦楽合奏団「ワレス先生トリオ」を主宰し、「イエール・ストームズ・ブローケン・コンソート」やフルート、ヴィオラ、ハープのトリオ「ハット・トリック」とコンサートツアーをしている。「ハット・トリック」のデビューアルバム「喜びと悲しみの庭」は、デーヴィッド・フロストの2018年の「プロデューサー・オブ・ザ・イヤー、クラシカル」のCDのひとつとなった。作曲家と編曲家としては、カネーギー・ホール、ニューヨーク・フィル、ジュリアード音楽院、ヴァオリニストのレイチェル・パートン・パイン、マリアン・アンダーソン弦楽四重奏団などの委嘱作品を手掛けている。
詳しくはwww.docwallacemusic.com。



神戸女学院大学音楽学部 連携ルーム(平日10:00～15:00)

お申込みは
お電話かメールで

TEL

0798-51-8588

MAIL

outreach@mail.kobe-c.ac.jp

* 件名に「WS申込」と明記の上、①氏名②大学名または所属先③ミュージックコミュニケーション講座受講の有無をご記入ください。
折り返し、申し込み完了メールをお送り致します。